

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

1) 大山篤, 大原里子, 佐々木好幸,  
川口陽子, 河原和夫, 俣木志朗:  
歯科領域における NHANES 統計調査データ  
の二次活用に関する研究. 日本公衆衛  
生学会雑誌, 2008, 55 : 565.

2) 大山篤, 柳澤智仁, 安藤雄一,  
大原里子, 佐々木好幸, 川口陽子, 河  
原和夫, 俣木志朗:  
歯科関連の厚生労働統計調査データの  
活用状況に関する研究. 日本公衆衛生  
学会雑誌, 2009, 56 : 320.

3) 大山篤: 歯科に関連した厚生労働  
統計の課題. ヘルスサイエンス・ヘ  
ルスケア, 2008, 8 : 75-78.

### 2. 学会発表

1) 大山篤, 大原里子, 佐々木好幸,  
川口陽子, 河原和夫, 俣木志朗:  
歯科領域における NHANES 統計調査デ  
ータの二次活用に関する研究.  
第 67 回日本公衆衛生学会.  
2008 年 11 月 5-7 日, 福岡サンパレス・  
福岡国際会議場, 福岡市.

2) 大山篤, 柳澤智仁, 安藤雄一,  
大原里子, 佐々木好幸, 北原稔,  
川口陽子, 河原和夫, 俣木志朗:

歯科関連の厚生労働統計調査データの  
活用状況に関する研究. 第 68 回日本公衆衛  
生学会総会, 2009 年 10 月 21 日(水)~23  
日(金), 奈良県文化会館・奈良県新公会堂,  
奈良市.

## H. 知的財産の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

(資料 1) 歯科領域における NHANES 統計調査データの利活用状況

**表1 歯科関連のNHANES論文を得るために用いた検索式**

1 nhanes.mp. or exp Nutrition Surveys/ (12301)

2 limit 1 to dentistry journals (221)

\* うち、1998年から2007年までの論文は116件であり、抄録や本文から英語文献89編を抽出した。

**表2 歯科関連のNHANES論文に関する調査内容**

1 利用されているNHANESの年代

2 研究目的

3 投稿されていた学術雑誌

4 NHANESデータセットの利用状況

5 文献の筆頭著者の所属研究機関の国籍

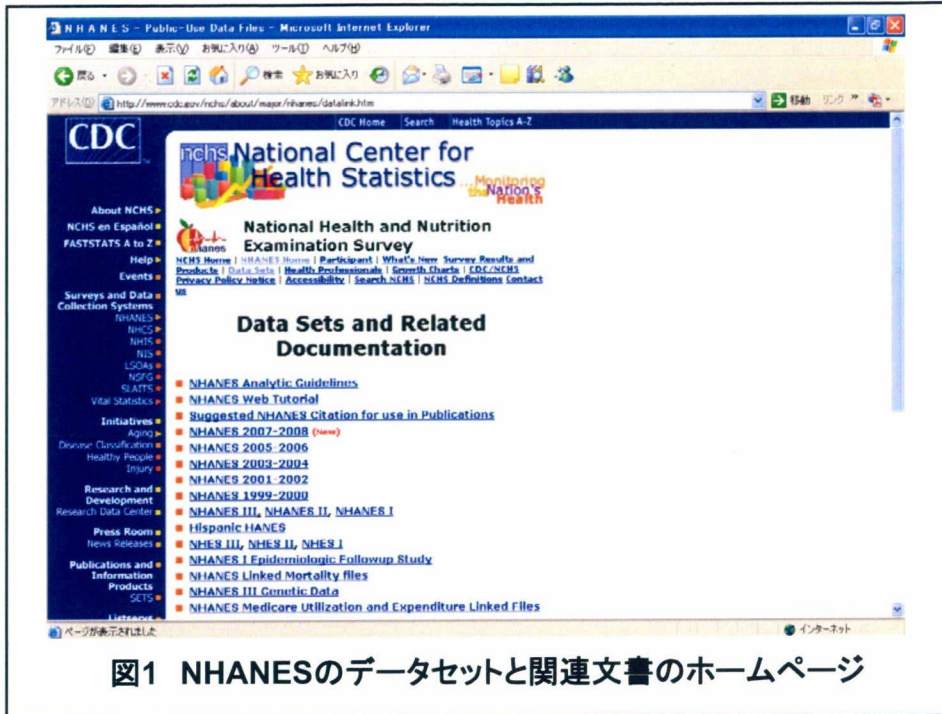


図1 NHANESのデータセットと関連文書のホームページ

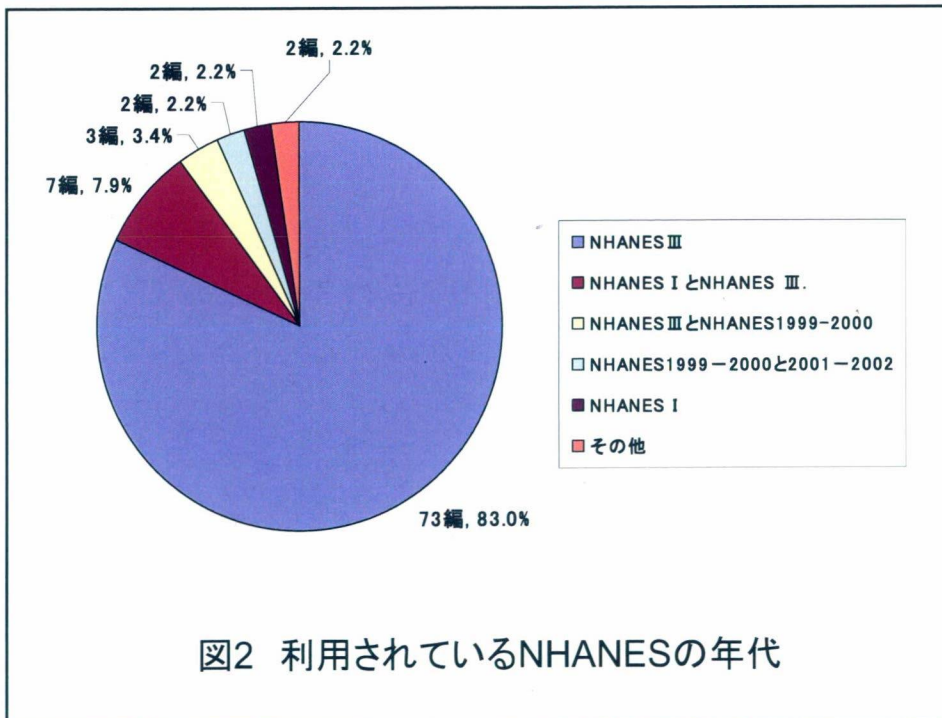


図2 利用されているNHANESの年代

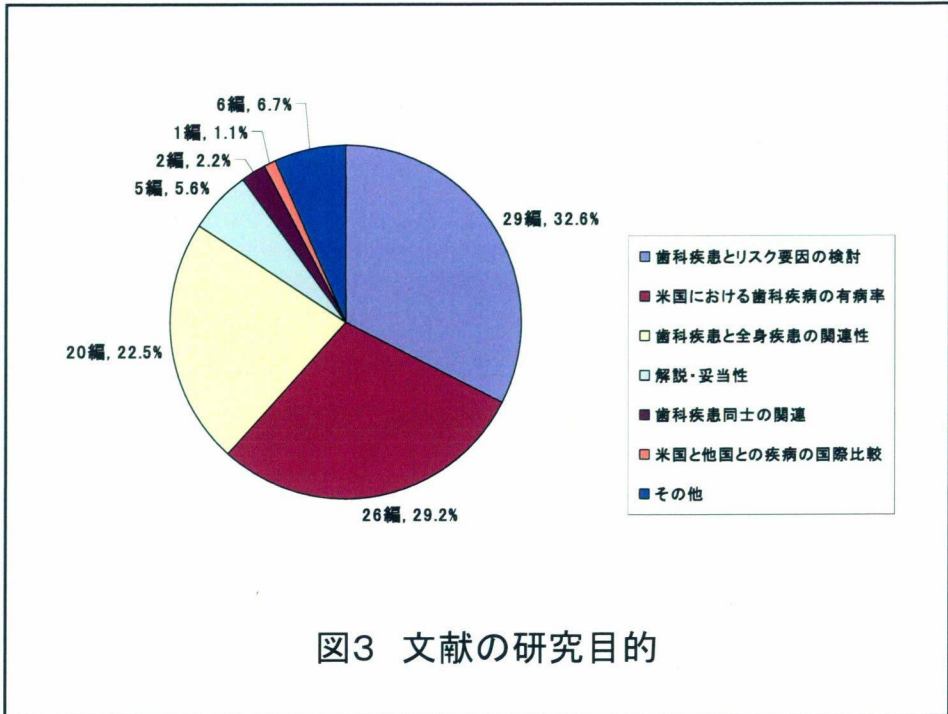


図3 文献の研究目的

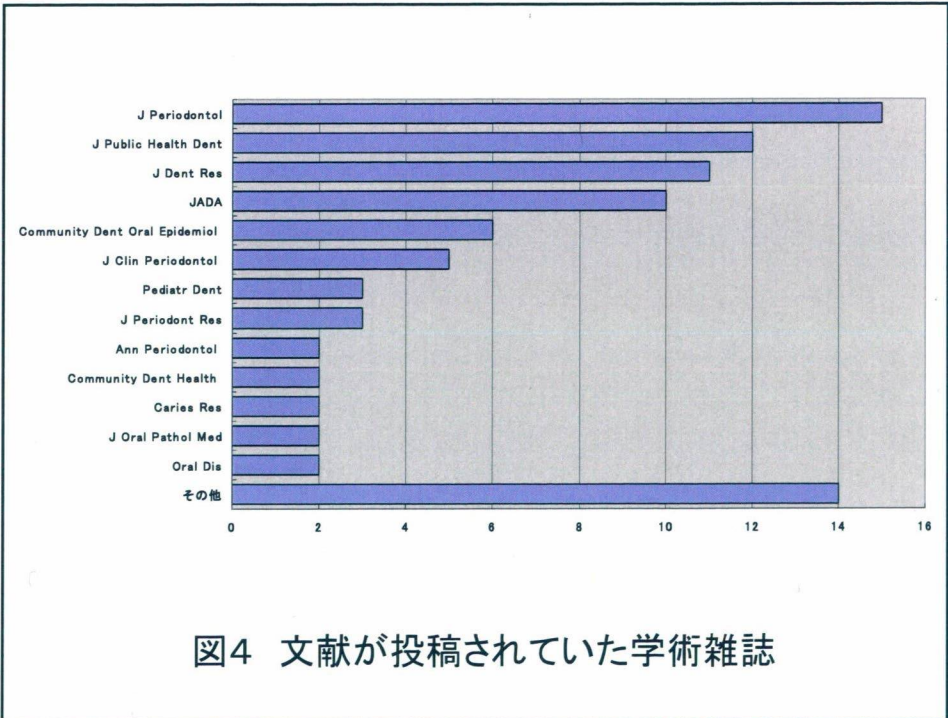
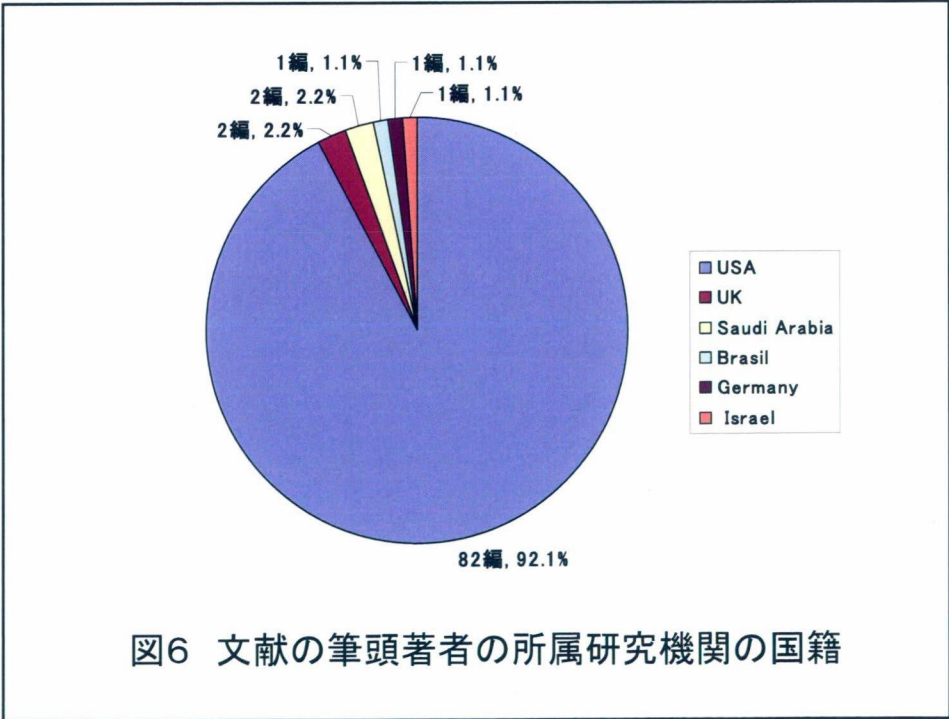
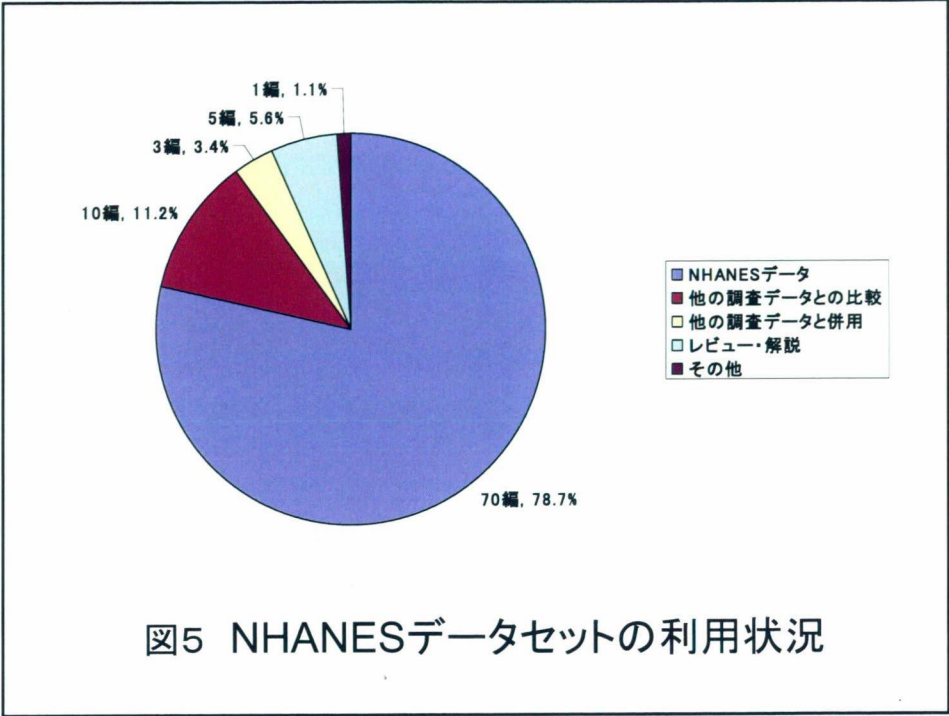


図4 文献が投稿されていた学術雑誌

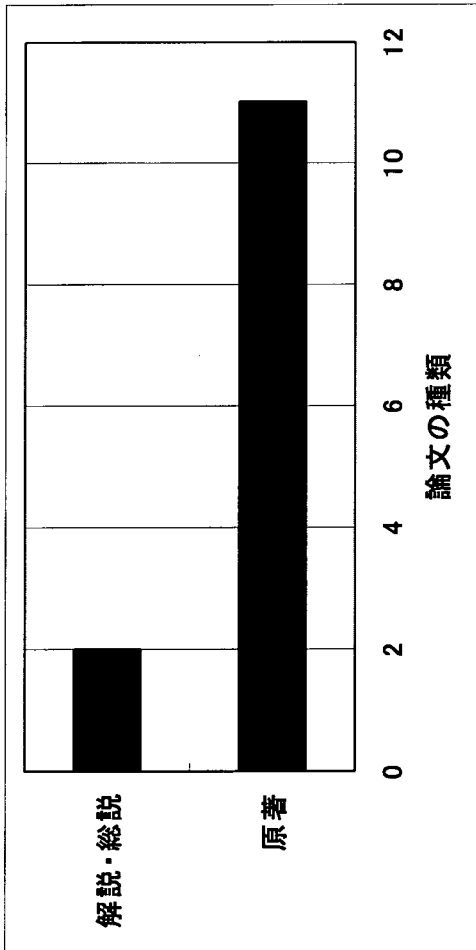


(資料 2) 歯科関連の厚生労働統計調査データの研究活用状況

表1. 各厚生労働統計調査における論文数

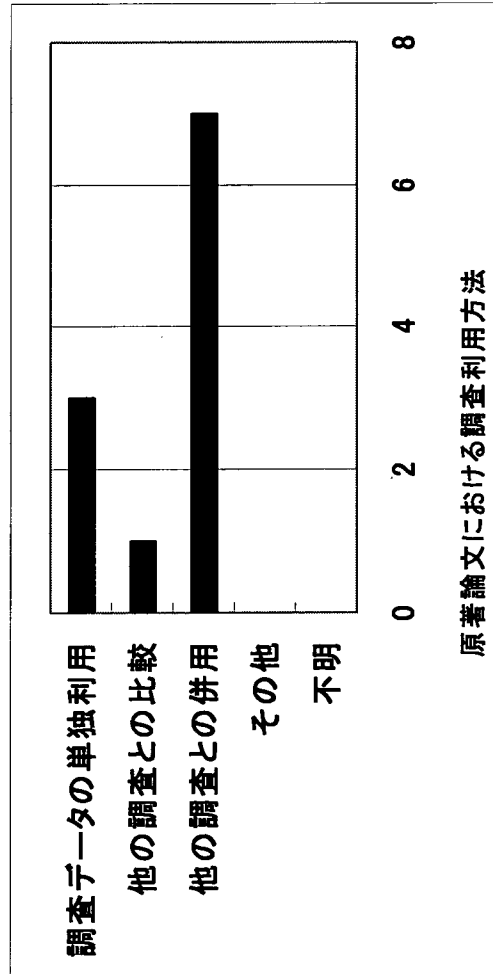
統計調査名	論文数
医療施設調査	13
国民生活基礎調査	13
社会医療診療行為別調査	14
医師・歯科医師・薬剤師調査	27
歯科疾患実態調査	25
国民健康・栄養調査	34
患者調査	43
人口動態統計	109





原著論文での利用データ(複数利用あり)

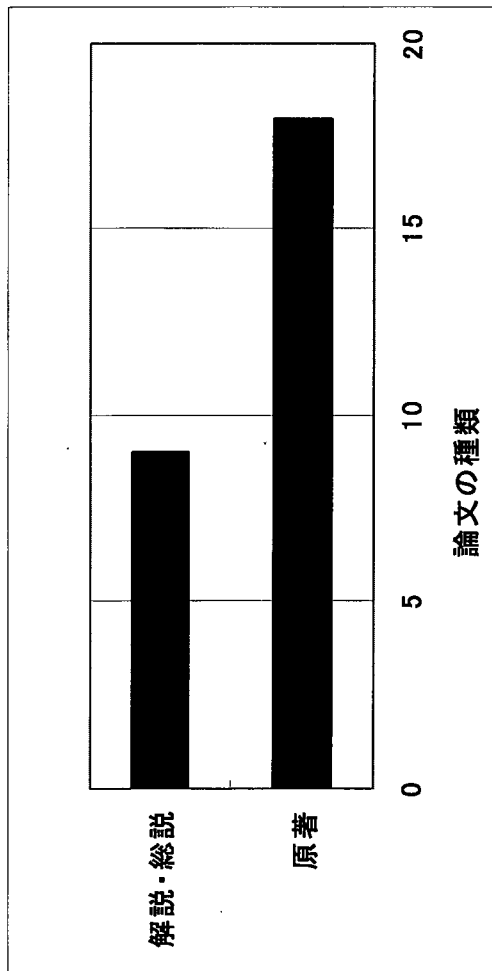
医療施設の地域分布・数	6
医療施設の機能	4
医療施設の規模	3
特定診療科医師・看護師数	2
開設者	1
不明	1



併用された調査(複数利用あり)

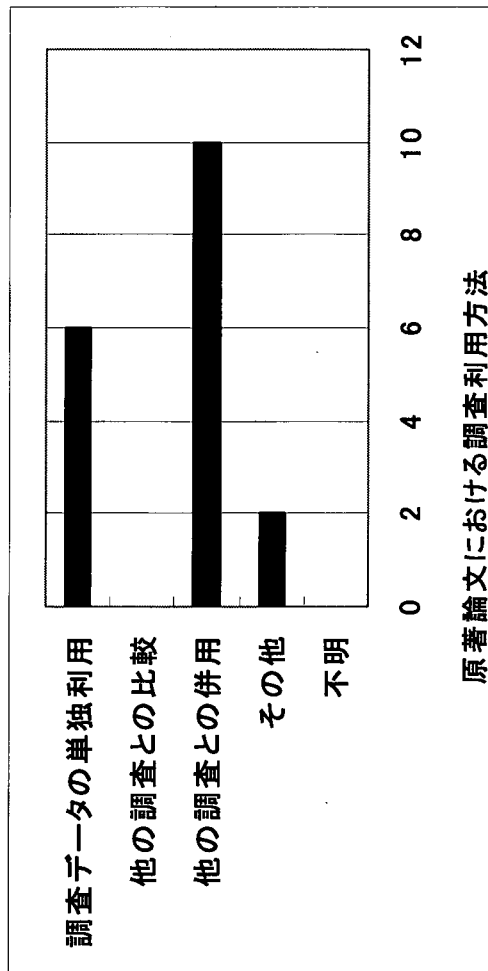
病院報告	2
医師・歯科医師・薬剤師調査	2
日本歯科医師会データ	1
患者調査	1
家計調査	1
地域保健老人保健事業報告	1
都道府県の指標	1
衛生行政報告書	1
病院要覧	1

図1. 医療施設調査の活用状況



原著論文での利用データ (複数利用あり)

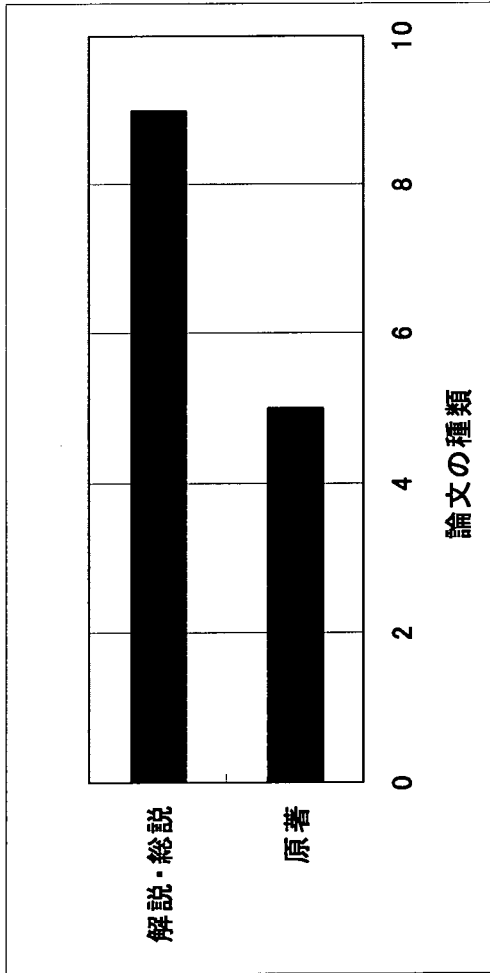
医師の地域分布・数	6
診療科別医師数	5
特定診療科医師数	4
施設および業務の種類	4
医師の年齢・性別	4
届出率	4



併用された調査 (複数利用あり)

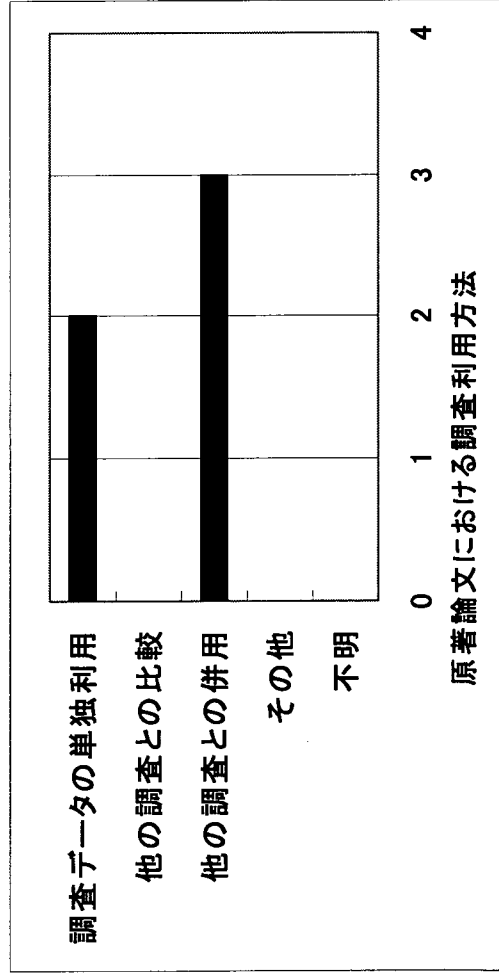
国勢調査	4
医療施設調査	3
愛知県医師会調査	1
賃金構造基本統計調査	1
衛生行政業務報告例	1
病院報告	1
歯科医籍登録者数	1
人口推計年報	1
日本麻酔科学会正会員数 日本麻酔科学会専門医数	1

図2. 医師・歯科医師・薬剤師調査の活用状況



原著論文での利用データ (複数利用あり)

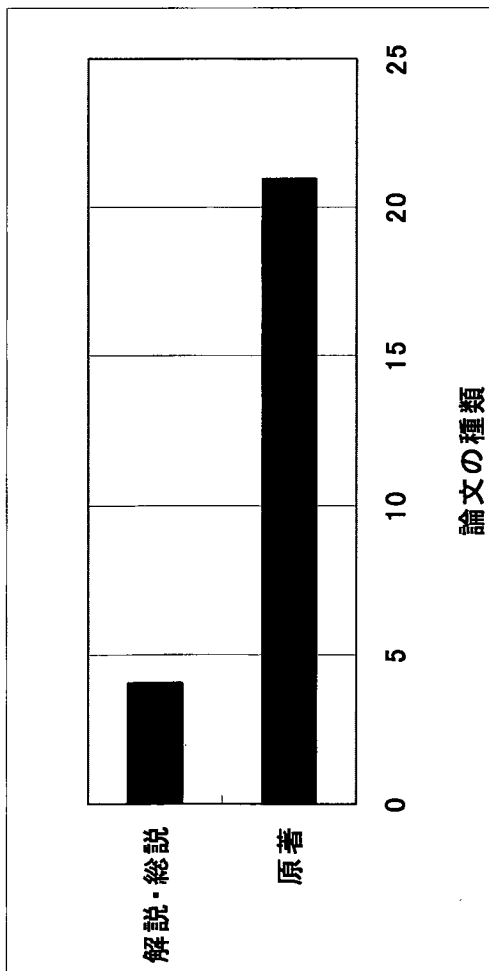
特定の診療頻度	2
特定の検査頻度	1
疾患別医療費	1
主働病名の頻度	1



併用された調査 (複数利用あり)

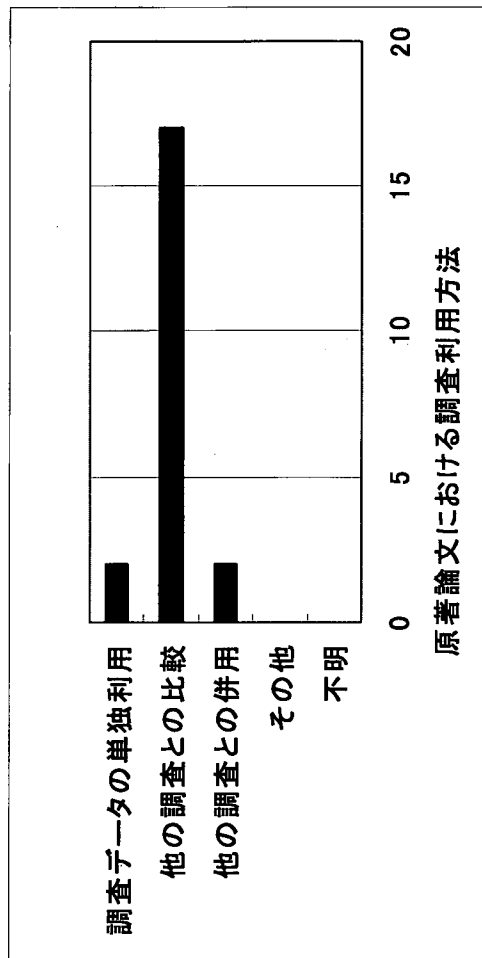
患者調査	2
独自のアンケート調査	1

図3. 社会医療診療行為別調査の活用状況



原著論文での利用データ (複数利用あり)

DMF (dmf) 歯数	12
現在歯数	9
歯肉の状況	3
齲蝕罹患率	2
20本以上の残存歯数	2
無齲蝕者率	2
欠損補綴状況	1
不明	2

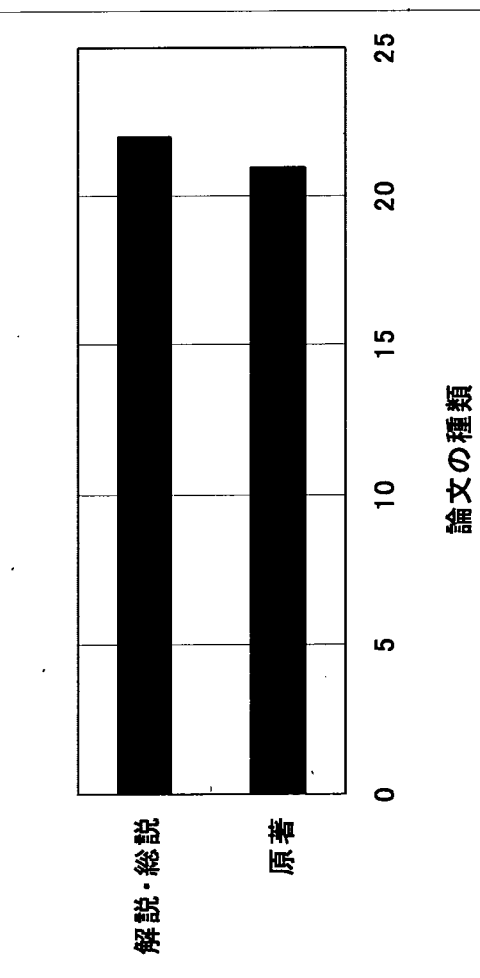


併用された調査 (複数利用あり)

推計人口	1
医師・歯科医師・薬剤師調査	1
国民栄養調査	1

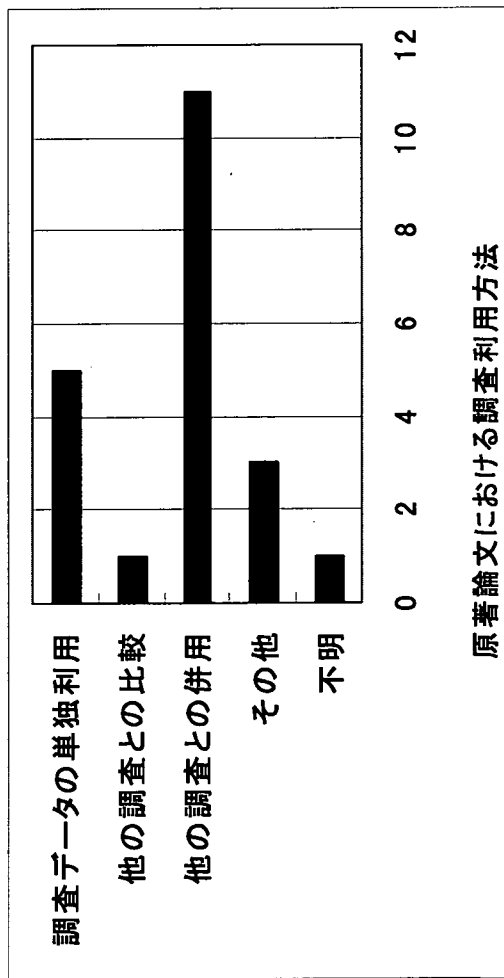
図4. 歯科疾患実態調査の活用状況

原著論文での利用データ（複数利用あり）



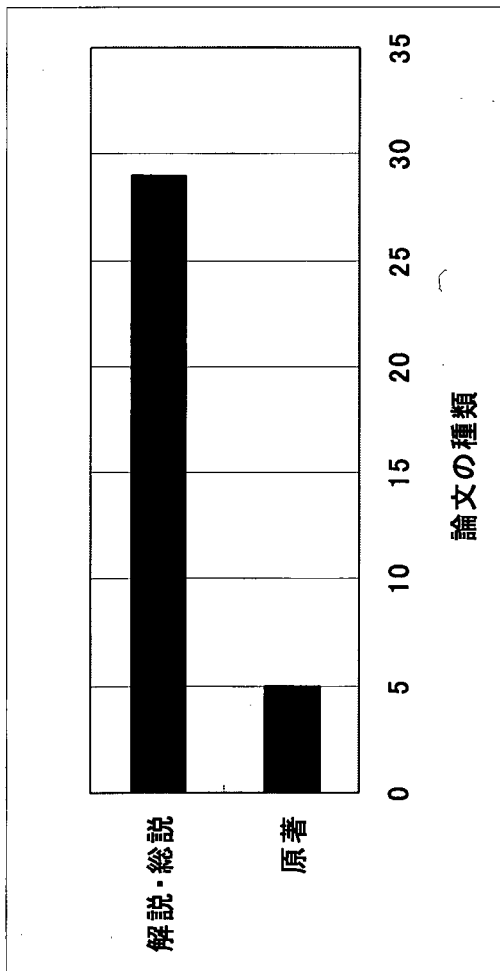
傷病名	6
患者数	5
受療率	3
患者の住所	2
入院患者数	2
入院発生率	1
退院患者数	1
退院率	1
在院日数	1
受療の種類	1
紹介の状況	1
その他	1

併用された調査（複数利用あり）



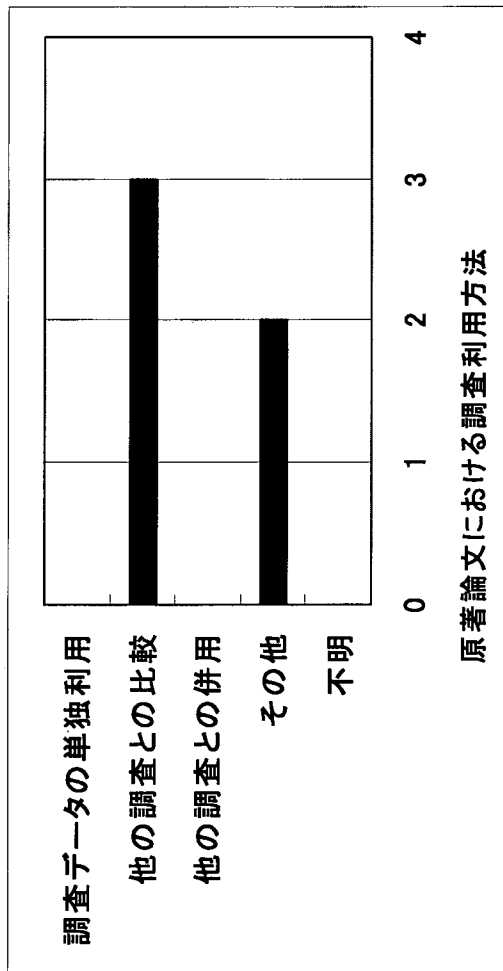
医療施設調査	3
社会医療診療行為別調査	2
特定疾患治療研究医療受給者調査	1
人口動態統計	1
家計調査	1
地域保健老人保健事業報告	1
都道府県の指標	1
人間ドック健診成績	1
病院医療システム	1
要介護認定率	1
国民医療費	1

図5. 患者調査の活用状況



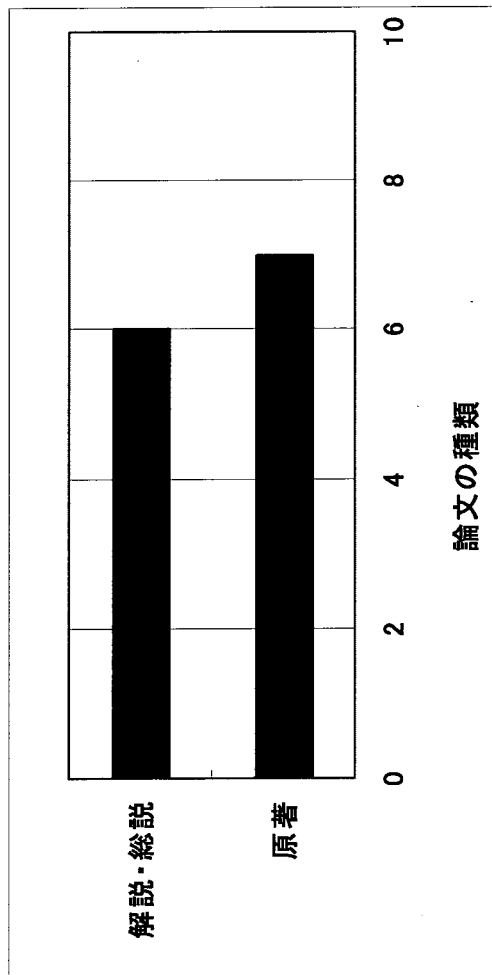
原著論文での利用データ (複数利用あり)

BMI	1
栄養摂取状況	1
食品群別摂取量	1
料理区分別摂取量	1
鉄摂取量・血清フェリチン濃度	1
喫煙率	1
調査項目全般	1



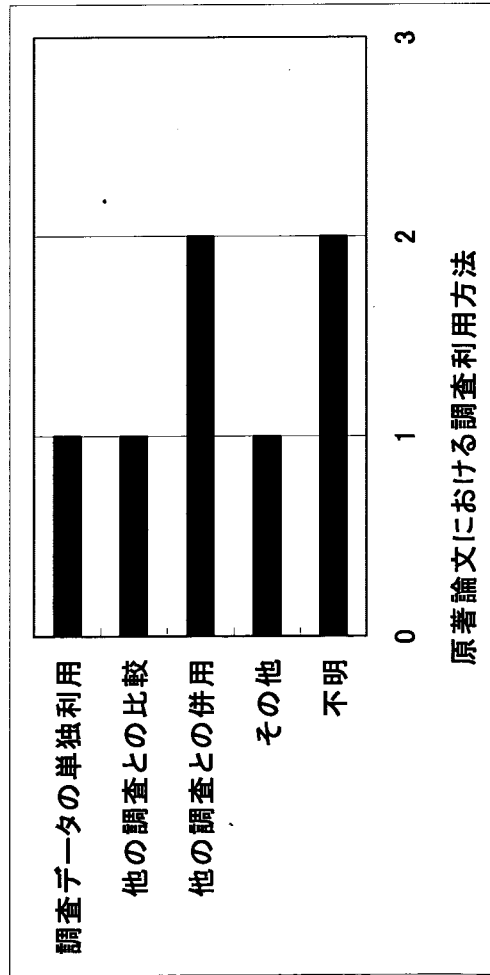
併用された調査なし

図6. 国民健康・栄養調査の活用状況



原著論文での利用データ (複数利用あり)

社会生活・環境	3
健康状態	3
喫煙	1
ストレス自覚度	1
不明	2



併用された調査 (複数利用あり)

国民栄養調査	1
基本健康調査	1
タバコ売渡本数ほか	1
人口動態統計	1
衛生業務報告	1

図7. 国民生活基礎調査の活用状況

原著論文での利用子ータ (複数利用あり)

特定の疾患による死亡数	23
特定の疾患による死亡率	20
周産期死亡率	5
出生時体重	4
(年齢別)出生数	3
自然死産率	3
出生週数	3
多胎胎児出生率	3
婚姻の状態	2
死亡場所	2
出生順位別出生数	2
男女出生比	2
嫡出子	2
低出生体重児出生率	2
出生時身長	1
出生率	1
人工死産率	1
世代出生数	1
早産率	1
総死亡	1
胎児死亡の男女比	1
乳児死亡率	1
その他	1
不明	4

併用された調査 (複数利用あり)

国勢調査	2
------	---

悪性新生物死亡統計、学校基本調査報告書、患者調査、患者の臨床データ、感染症発生動向調査、県警察資料、建築統計年報、厚生労働省衛生業務報告、国民生活基礎調査、国民総所得、国立がんセンター癌発生率、情報通信白書、食糧需給表、人口推計年報、人口データ、人口動態調査、産業別統計、地域病登録、東京都母子医療統計、統計でみる都道府県のすがた2006、特定疾患治療研究医献検表による症例報告、保険会社死亡率統計諸表、北海道保健統計年報、民力、労働衛生統計

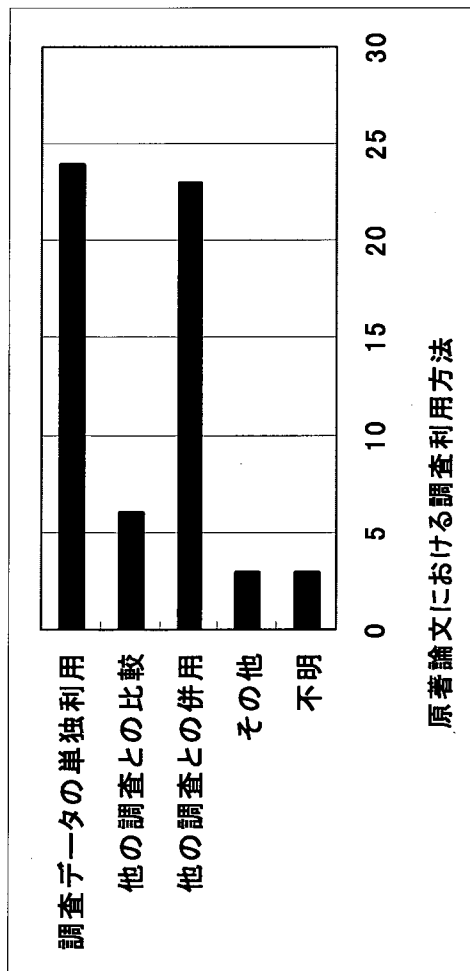
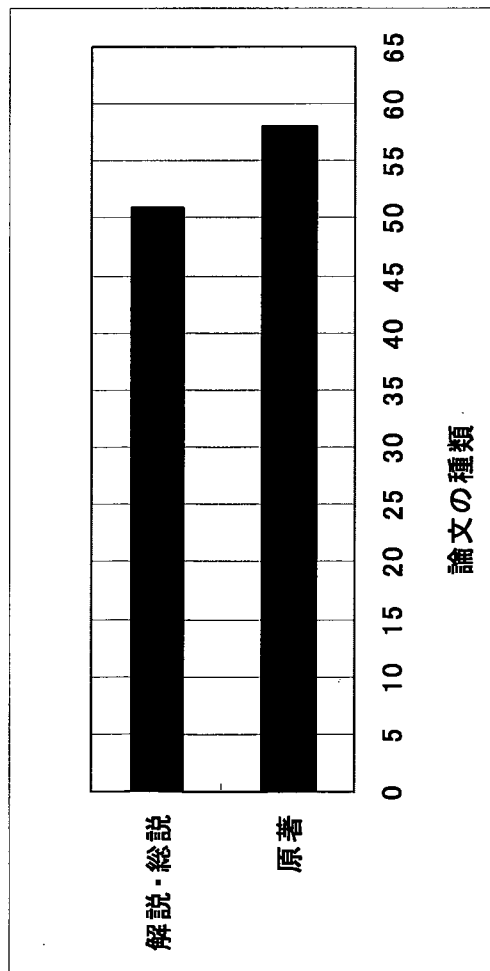


図8. 人口動態統計の活用状況



(資料 3) 厚生労働統計データの現状

調査名	人口動態調査
URL	<a href="http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html">http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html</a> <a href="http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html">http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html</a> <a href="http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/index.html">http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/index.html</a> (調査票一覧)
調査の頻度	通年 (報告書(「人口動態統計」)の公表は年1回)
最新調査年	平成20年 (最新の報告書公表年)
調査の目的	我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
調査の沿革	明治31年に「戸籍法」が制定され、住民登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、同32年から人口動態調査票として1件につき1枚の個別票を作成し、中央集計をおこなう近代的な人口動態調査が確立された。さらに、昭和22年6月に「統計法」に基づき「指定統計5号」として指定され、その事務の所管が同年9月1日に総理庁から厚生省に移管された。
調査の対象及び客体	「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成20年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
調査の方法及び系統	市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
調査の期日及び期間	調査自体は通年で実施されているが、集計にあたっては、各年の1月1日から12月31日までに発生した事象を対象としており、翌年の1月14日までに市区町村長に届け出られたものを用いている。この場合、婚姻や協議離婚は、届書が市区町村長に受理されたことにより発生するため届出遅れの問題はないが、出生・死亡・死産や調停・審判・和解・請求の認諾・判決による離婚は、発生から届出までに相当の遅れの発生することがあり、前年以前に発生した事象についても別途記載されている。
調査事項	以下の5種類の調査票からなる:「人口動態調査出生票」、「人口動態調査死亡票」、「人口動態調査死産票」、「人口動態調査婚姻票」、「人口動態調査離婚票」
結果の集計調査票等	厚生労働省大臣官房統計情報部において行う。 次ページに添付(平成21年度)
集計客体数	出生:1,091,156人、死亡:1,142,507人、死産:28,177胎、婚姻:726,106組、離婚:251,136組(いずれも全数調査;平成20年)
他の調査との関連	
関連情報URL	ぜん息等人口動態統計(環境再生保全機構) <a href="http://www.erca.go.jp/asthma2/library/statistic/population.html">http://www.erca.go.jp/asthma2/library/statistic/population.html</a>
関連出版物	厚生労働省大臣官房統計情報部: 人口動態統計 平成20年 上巻. 厚生統計協会. 2010. 厚生労働省大臣官房統計情報部: 人口動態統計 平成20年 中巻. 厚生統計協会. 2010. 厚生労働省大臣官房統計情報部: 人口動態統計 平成20年 下巻. 厚生統計協会. 2010.
関連論文例	加藤勝也, 岸本卓巳, 玄馬顕一, 青江啓介, 武島幸男, 井内康輝, 金澤右: 胸膜中皮腫死亡例の単純X線およびCT画像からの解析 平成15年度中皮腫死亡例 878例からの検討. 臨床放射線 2008, 53(1): 189-193. 小田切陽一, 内田博之: 日本人女性の出生動向における年齢・時代・世代影響と出生数の将来推計. 厚生の指標 2007, 54(11): 9-15. 安達久美子, 恵美須文枝, 小川久貴子: 統計からみた10代の女性の出産. 思春期学 2006, 24(2): 407-414.
調査精度に関する課題	

様式第1号 (第6条関係)

数字記入例

0123456789

人口動態調査出生票

統計法に基づく  
基幹統計調査

市区町村符号及び保健所符号		支所 保健所		事件簿番号		照会	
平成 年 月 日 市区町村受付		平成 年 月 日 保健所受付		平成 年 月 日 市区町村受付		平成 年 月 日 保健所受付	
氏名		性別		出生年月日		時刻	
(1) 子の氏名 父母との続柄 男 女		(2) 男 女		昭和 年 月 日		時 分	
(3) 生まれたところ		出生年月日		出生時刻		出生場所	
日本 市区町村		市区町村		市区町村		市区町村	
(4) 子の住所		出生年月日		出生時刻		出生場所	
日本 市区町村		市区町村		市区町村		市区町村	
(5) 父母の氏名		出生年月日		出生時刻		出生場所	
父 母		父 母		父 母		父 母	
(6) 父母の国籍		出生年月日		出生時刻		出生場所	
父 母		父 母		父 母		父 母	
(7) 開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(8) 開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(9) 開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(10) 開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
開始時刻		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(11) 体重量		出生年月日		出生時刻		出生場所	
体重量		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(12) 体重量		出生年月日		出生時刻		出生場所	
体重量		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(13) 妊娠週数		出生年月日		出生時刻		出生場所	
妊娠週数		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(14) 出産した		出生年月日		出生時刻		出生場所	
出産した		出生年月日		出生時刻		出生場所	
(15) 出生した		出生年月日		出生時刻		出生場所	
出生した		出生年月日		出生時刻		出生場所	
備考		備考		備考		備考	

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。  
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づき報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。  
この調査の実施に当たっては、特に必要がある場合には、資料の提出をお願いや関係者の方々への照会を行うことがあります。

数字記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

人口動態調査死亡票 2

平成 年 月 日 市区町村受付

統計法に基づく  
基幹統計調査

市区町村符号及び保健所符号

事件簿番号

平成 年 月 日 保健所受付

照会

(1) 氏名 (3) 生年月日 (4) 死亡したとき

(2) 男女別 (6) 死亡した人の住所

(5) 死亡した人の国籍 (8)(9) 死亡した人の夫または妻

(10) 死亡したときの世帯の主な仕事 (11) 死亡したときの職業・産業 (12)(13) 死亡したときの種別

原死因符号 外因の状況符号 発生したところ符号 傷害発生したところ符号 母側符号

(4) 死亡の原因 (ア) 直接死因 (イ) (ロ) の原因 (ウ) (エ) の原因 (エ) (オ) の原因 (イ) ぼたした病名等を及ぼす

手術 1無 2有 部位及び主要所見 手術年月日 解剖 1無 2有 主要所見

(15) 死因の種類 (17) 出生時体重 単胎・多胎の別 妊娠週数

(16) 外因死の追加事項 傷害が発生したとき 傷害が発生したところ 手段及び状況

(19) 施設の所在地又は医師の住所及び氏名 住所 丁目 番地 番号 確認 備考

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。